

(こちらとの話し合いで) 事案発生から長い時間が経過していましたが、アンケート調査や全校への呼びかけ、こちらが作成した手紙を読んでも頂いた事に  
～いじめ調査に対する所見～ は感謝しております。

No.1

る学年対象に上げさが無くなったことに関するアンケートを、事案が起きてから24日後に行っている。だが、このアンケート調査を行う3日前にAの保護者が来校し、無くなった原因を調べてほしいと依頼したことにより、学校がアンケートを行うことになった。

このアンケートにより、複数の小情報が寄せられました。上げさが無くなったことに関する小情報はなかったが、4月18日の事案発生直後にアンケート調査を行っていたならば、関係者の記小竟も新しくもう少し多くの小情報が寄せられたのではないかと?

学校から「イジメではなく、誰かがまちがえて履いていったかもしれない」と説明をさし続けた対応にも、もう少し早く切り換えて行動を起こしてくんでいけば、もう少し違っていたのではないかと考えると悔まれます。

先生達で講成された調査組織も会議も、全て、Aの保護者が学校に来校した後に実施を始めているので、今後、同様のことが起きた場合、(先生達の経験を)被害者側の生徒に寄り添った行動に努めてほしいし、学校全ての先生方に見て見ぬフリをしないで頂きたいです。

そして、保護者は学校との話し合いの場で辛い想いを抱えながら毎回出向いていたので、保護者が安心して想いを伝えられる窓口を設けて頂きたいです。

先生の目が行き届かないようであれば、  
提案として

NO2

学校が「イジメではよく誰かが間違えて履いて  
いったかもしれない」と言うのであれば、防犯カメラの  
設置を早く行うか、鍵付きの下駄箱に  
さしてはいかがでしょうか？と思います。

(高校は付いてるところもありますが、、、)

最終調査報告の際、保護者側が確認のため資料に  
目を通す際、数ページに渡るものでしたが、  
確認時間が数分しかなかった。その結果、その後  
再修正が何度も続いた。。。

Aの保護者や関係者に対し、その思いに尊重  
し続ける対応が可能なならば(対応したいと思うのであれば)  
別室を設け時間を与えるか、後日、再度、報告書の  
話し合いの時間を設けるべきだったと思います。

